

しぶかわし



農業委員会だより

発行／渋川市農業委員会 〒377-8501 渋川市石原80番地
TEL 0279-22-2920 FAX 0279-22-2132

vol. 1
2007.10.1



石北 守男さん
良美さん(中郷)

大切にしたい 家族や仲間との助け合い

私は、昭和55年勢多農林高校を卒業と同時に就農しました。当時は農業後継者が多くいて、子持地区だけで同級生が7名もいましたので、自分自身が両親と一緒に働くことに特別な思いはありませんでした。回りには良き先輩や仲間がたくさんいたので楽しい青春時代を過ごすことができましたと感謝しています。

平成2年に結婚し、二男一女に恵まれて7人の大家族で生活しています。現在はコンニャク栽培と酪農・肉牛の複合経営をしています。WTO農業交渉による輸入自由化問題など、心配は尽きませんが家族で協力し地区の仲間とも助け合いながらしっかりやっけて行こうと思います。

合併により農業委員さんの数も大分減ってしまい大変なことも多いと思いますが、スケールメリットを活かして頑張っていたきたいと思います。

こんにちは! **がんばってます!**

いつも学ぶ姿勢を持ち続け、 目標に向かって…

昭和55年に酪農から子牛育成に変え、平成元年頃から和牛繁殖を徐々に増頭し現在母牛60頭になりました。

平成15年には長男が就農し、野菜の露地栽培も始め、今では施設栽培に転換し、子牛育成と共に経営の安定を図っています。

その長男も経営に関する情報を取り入れ、視野を拡げて学びたいと『SUNクラブ(渋川地区農業青年)』に入会し、JAや他職種の青年団体と交流し勉強しています。

これからも家族で力を合わせて、さらに増頭を続け、母牛の更新を図りたいと思います。

また、遊休農地の解消と飼料自給率の安定化を図るため、放牧場設置や飼料作物の生産を増大していきたいと考えています。



角田 安民さん
栄さん
雅之さん(赤城町勝保沢)

農業委員紹介

あなたの地区の農業委員を
よろしく願います。

農業に関することは私たちに相談下さい。

※会長を除き議席番号順

会長 あいさし

洪川市農業委員会会長

廣田 勝次 (洪川)

担当地区 八木原



農家の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、平素から農業委員会の活動にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年2月20日には、洪川、伊香保、小野上、子持、赤城及び北橋農業委員会を統合し、新洪川市農業委員会として、新たなスタートを切ることは実に意義深いものがあると考えます。

さて、今日の農業は担い手不足・農地の遊休荒廃化・先進国で例のない低い食料自給率など、厳しい状況に置かれております。しかし、新たな「食料・農業・農村基本計画」に基づき、関係者が一体となって食料自給率向上をはじめとする農政改革に踏み出してまいります。

こうした情勢の中、農業委員会の果たす役割と期待は高まり、責務はこれまで以上に重要となっております。農業委員一人ひとりがこのような状況を的確に受け止め、担い手や優良農地の確保を重要課題にし、地域の特徴を生かした活動をしていくことが第一と考えております。

農業委員会の構成部会は、農地部会が第1農地部会と第2農地部会に分かれ、第1は旧洪川市・旧伊香保町・旧小野上村・旧子持村、第2は旧赤城村・旧北橋村の農地議題を審議しております。農政部会は新洪川市全域の農業振興議題を審議しております。

終わりに、本市の農業・農村が希望と魅力にあふれたものとなるよう農業委員一同、努力して参る所存であることを申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。



第2農地部会長職務代理者

小林 元雄 (北橋)

担当地区 真壁

抱負等

私は農政部会に所属してありますが第一に遊休農地の解消に努力したい。第二に子供達に食と農の大切さを教えて地産地消を推進して行きたい。第三に後継者の育成推進を計りたい。



永井 克男 (赤城)

担当地区 三原田

抱負等

厳しい農業環境情勢の中で農業を守る為、農業委員の役割を認識し農業振興発展と実現に向け頑張ります。高齢化が進む中で担い手への利用集積、耕作放棄地発生防止に取り組みます。



奥泉 安六 (洪川)

担当地区 行幸田

抱負等

先輩の築き上げた組織、環境、施設、これを承継し、農協でお世話になった皆様に、少しでも恩返しが出来ればと思っています。



入澤 啓隆 (洪川)

担当地区 洪川

抱負等

担い手の減少と高齢化などで体質が弱り、遊休農地は増加し、日本の食糧自給率は40%です。もともと農地を有効利用し達成出来るよう、担い手が希望の持てる農政に努力していきたいと思えます。



農政部会長職務代理者

木暮 才一 (赤城)

担当地区 北上野・勝保沢
南赤城山一部

抱負等

私は遊休農地を現在4600㎡を借受耕作して居ります。洪川市農業委員になり地域の代表として遊休農地利用に力を入れていきたいと思えます。



笹木 進 (赤城)

担当地区 津久田1区・4区
長井小川2部
北赤城山2部

抱負等

農業を取りまく環境は大変厳しいものがありますが、地域の皆さんのお役に立てればと思います。



松下一昇一 (渋川)
担当地区 石原

抱負等
農委選で皆さんには大変お世話になりました。新市になつて大変な時です。お役に立てる活動をしていきたいと思ひます。皆さんのご協力をお願いいたします。



第1農地部会長
島村 恒夫 (子持)
担当地区 吹屋・白井

抱負等
地域農業の振興と渋川地域の農産物の食の安全安心を消費者にPR。その為に農業委員会が何が出来るか共に学び農業発展に寄与したい。



農政部会長
千明 眞一 (子持)
担当地区 中郷(上)

抱負等
地域農業発展のために頑張ります。特に地域農業体質強化のための取組、遊休農地の縮減等、皆さんと共に取り組んでいきたいと思ひます。



高橋 正樹 (北橋)
担当地区 下箱田

抱負等
委員の中で一番の若輩者ですが、諸先輩方の御指導を仰ぎながら「荒廃農地」解消等の諸問題に取り組んで行きたいと思ひます。宜しくお願ひいたします。



角田 隆雄 (赤城)
担当地区 樽・宮田

抱負等
年々厳しさを増す農業を取り巻く環境、増え続ける荒れた農地。責任は重大。頑張ります。



第2農地部会長
新井 正喜 (赤城)
担当地区 溝呂木・南赤城山部

抱負等
農政改革や農業就業者の高齢化、遊休農地の増加など課題が多い。地域農業の活性化、地産地消の推進、農地法の適正な運用など微力ながら頑張りたい。



都丸 建 (赤城)
担当地区 敷島・津久田3区

抱負等
農業委員1年生ですが、地域の皆様の信頼と負託に応えられるよう頑張つていきますので、よろしくお願ひいたします。



石田三代次 (北橋)
担当地区 上箱田・箱田

抱負等
農業と農村の活性化を図るために、J・Aと農業委員会とのパイプ役として遊休農地の発生防止と解消に、また各種補助事業の推進に努めたい。



萩原 良隆 (北橋)
担当地区 分郷八崎・小室

抱負等
自然体で、いろいろな事に取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



下田 進 (赤城)
担当地区 栄持柏木
南赤城山一部

抱負等
今日の農業は、高齢化と農業離れが進む大変厳しい状況にあります。その中で地域の皆さんのご協力をいただき、担い手育成と遊休農地の解消に努めていきたいと思ひます。



第1農地部長職務代理者

岸 勝吉 (渋川)

担当地区 金井(上・中・本・南園)
南牧・阿久津

抱負等

地域の委員として、農地と住宅地混在による環境問題や農業者の高齢化・担い手不足による遊休農地の解消、土地改良事業の推進に取り組んでいきたいと思っています。



平方 六郎 (小野上)

担当地区 小野子

抱負等

少子高齢化、また若者の農業離れに伴い荒廃農地、耕作放棄地が増大している。このような農地については、山間地の傾斜地は植林を進めていきたい。



岡本 忠雄 (小野上)

担当地区 村上

抱負等

農地の荒廃、不在地主の増加が見られる中、農業委員として、耕作農地及び制限条件を考え、耕作農地を守る為の努力をしたいと思っています。



轟木 直典 (子持)

担当地区 上白井
(上中組・子麓)

抱負等

食の基となる農地、地域のために何が出来るか、不安ですが頑張っていくつもりです。



兵藤 好一 (赤城)

担当地区 長井小川田・深山
北赤城山部

抱負等

今年度より渋川市農業委員になり私自身本場に責任を痛感して居ります。早く委員会、先輩等の御指導を仰ぎながら責務を全うしたいと思えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



小林 宣雄 (渋川)

担当地区 祖母島・川島

抱負等

新渋川市の農業委員として地域の皆様には大変お世話に成ります。委員も削減され担当地域も広く行き届かない面が有ると思えますが、皆様の御協力を宜しくお願い致します。



松村 力 (渋川)

担当地区 金井(下)・湯中子
伊香保・水沢

抱負等

優良農地の遊休化をなくし、皆さんと相談また研究していき解決をしたいと思っています。また、安全安心の食料を生産するため、講演会や研究会等の開催をして技術の向上をし、公害に強い農業を考えていきたいです。



長岡 圭一 (赤城)

担当地区 上三原田

抱負等

私はトマト周年栽培の専業農家として家族一丸となり長年努力してまいりました。今後、農業委員の一員としても地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。



会長職務代理者

池田 一夫 (北橋)

担当地区 八崎

抱負等

これからの農業発展に、渋川市農業委員一同が、農業の重要課題に取り組み、遊休農地、農地の流動化、担い手の育成、農地利用等を推進し、食の安全性を考慮し、今後の農業に望ましい農地利用を実現する為、微力ながら努力したいと思います。



下田 満直 (北橋)

担当地区 上南室・下南室

抱負等

農業委員として、農家の生産者の高齢化に伴う優良農地をどう管理してゆくのかが、六〇才代から七〇才代が主流ですから一〇年二〇年後がとも心配です。農地の集団化生産等を勉強していきたいと思っています。



佐藤 裕一 (子持)
担当地区 横堀・北牧

抱負等
小野上、子持地域の横堀、北牧地区より推薦され、任命を受けました。微力ではありますが、農業委員会発展の為に頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



狩野 邦司 (赤城)
担当地区 棚下・津久田2区
北赤城山一部

抱負等
畑の美食を覚えた鹿は毎日畑を荒らし、荒廃地は増加しています。
緑の大地が再生出来ます様、努めていきたいと思ひます。



飯塚 輝之 (渋川)
担当地区 有馬

抱負等
先の農委選では、第一選挙区の皆様にはお世話になりました。遊休農地の解消。土地改良事業の推進。
真剣に農業に取り組んでいる人達に、少しでも役に立てよう努めます。



小淵益太郎 (子持)
担当地区 中郷(下)

抱負等
利根川を挟み6市町村の合併で新渋川市誕生。地域の関係でお互いに接見が少なく知らない人が多かった。事務局を核に融和親睦を計りながら委員としての職責を果たしてゆきたい。



石井彦十郎 (渋川)
担当地区 半田

抱負等
8年前に農業委員をしていました。今回農協推薦により農業委員になりました。
優良農地を守り遊休農地の解消に努めていきたいと思ひます。



神道 晃 (子持)
担当地区 中郷(下)

抱負等
農業者の高齢化により遊休農地が増えていきます。その対策として緑肥作物(アリアーベツチ)などの推進、農地の有効利用など地域発展の為に皆さんの御協力を得ながら努めたいと思ひます。



中野八重子 (渋川)
担当地区 中村

抱負等
議会推薦ということ引き受けましたが、今の農業は色々な課題を抱えて大変な時です。地域の皆様にご協力をいただきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。



石坂美保子 (子持)
担当地区 上白井(上上組)

抱負等
渋川市議会より推薦をいただきました。
女性の立場から微力で微量でありますが、貢献できれば幸いと心しています。
よろしくお願ひいたします。



南雲 秀雄 (赤城)
担当地区 見立・滝沢

抱負等
農業と農地に関する地域の課題は、環境保全や食の安全、担い手育成、農地の有効活用等数多いが、農業は魅力的で価値ある産業と確信し、取り組んでいきたい。



森田 智子 (北橋)
担当地区 赤城山・上箱田

抱負等
東京で生まれ育ちました私が動物、農業が大好きで赤城山の麓で酪農をしています。子供たちや消費者の人たちにも農業の素晴らしさを知ってほしいと思ひます。



**家族経営協定を
締結**

**20組の家族が調印し
166組に**

平成19年7月20日に澁川合同庁舎別館で家族経営協定会同調印式が行われ、今回は20組46人の農家の皆さん（下欄参照）が調印を行い、家族内での取り決めについて確認を交わしました。農業委員会

では、今日の重要な課題である家族経営協定の締結について積極的

- ◆ 相川作次・トミ子 (敬称略五十音順) (半田)
- ◆ 相川嘉辰・公子 (半田)
- ◆ 飯塚朝雄・礼子 (横堀)
- ◆ 飯塚光市・敬子 (横堀)
- ◆ 池田勝好・久子 (横堀)
- ◆ 謙一郎・祐二郎 (中郷)
- ◆ 石井彦十郎・房江 (半田)
- ◆ 今井克由・繁美(北橋町下箱田)
- ◆ 大谷忠・美津江 (有馬)
- ◆ 佐藤真一郎・清江 (横堀)
- ◆ 佐藤裕一・宮子 (北牧)
- ◆ 田中武男・照美・友嵩 (北橋町八崎)
- ◆ 田中立男・かい子・則之 (北橋町八崎)
- ◆ 角田悦寿・佐知子・悟 (赤城町勝保沢)
- ◆ 永井克男・初代 (赤城町三原田)
- ◆ 南雲八郎・真理 (赤城町溝呂木)
- ◆ 萩原勝吉・和子 (北橋町真壁)
- ◆ 原田勝彦・弘子 (赤城町樽)
- ◆ 藤川満・あけみ (赤城町持柏木)
- ◆ 森田次一・智子・拓哉 (北橋町赤城山)
- ◆ 山本正五郎・ミツエ (金井)

**今回協定を締結した
農家の皆さん**

(☎)2920) または澁川地区農業指導センター(☎)1321)へ。

農作業の参考にしてください 平成19年度農作業労賃標準額

市農業委員会では、平成19年度の農作業労賃標準額について下表のとおり定めました。
なお、この労賃等は標準額であり、作業場所の状態や作業の難易等により異なりますので、これを参考に当事者間の話し合いで決めてください。

1. 臨時雇用賃金 (1日当たり)

作 業 名	標 準 額	付 記
農作業全般(田植え・稲刈り・麦刈り・こんにやく、野菜等植付け・収穫)	5,200円～10,000円	労働時間8時間

2. 農作業請負料金

作 業 名	単 位	標 準 額	付 記
代 か き	10a当たり	6,000円～7,000円	整地作業は別料金
機 械 田 植 え	"	6,000円～8,000円	植付のみ
育 苗 代	1箱当たり	650円	中苗(芽出しは347円)
刈り取り(水稲・麦)	10a当たり	15,000円～16,500円	倒伏は割増し
" (大豆)	"	13,000円	"
乾燥・調整・糶摺り(水稲)	60kg当たり	1,200円～1,600円	料金の他に機械利用料1,500円加算
もみすり(水稲)	"	600円～800円	料金の他に機械利用料1,000円加算
乾燥・調整(麦)	"	1,400円	"
麦まぎ一式	10a当たり	15,000円	種子、肥料代は別(耕耘、施肥、播種、整地、鎮圧)
ロータリー(耕耘)	"	6,000円	1回(すき込み割増)
ブラウ(すき耕)	"	7,000円～8,000円	
マニアスプレッタ(堆肥散布)	"	15,000円	堆肥代込み(2t車)
抜根(桑)	"	35,000円	抜根のみ(抜根始末すると50,000円～60,000円)
サブソイラー	"	7,000円	クロスかけ(ピッチ幅70cm×深さ50cm)
遊休農地管理	"	20,000円	耕耘、草刈、畦畔等管理
運搬費	-	2,000円	

- 備 考
1. 上記標準額は、土地改良事業等によるほ場整備地の場合とする。その他は、ほ場条件、作業の難易等によって割増しする。
 2. 面積計算は、土地登記簿上の面積または換地面積とする。
 3. 料金支払いは、作業終了後1ヶ月以内に現金で支払う。

農業委員会の取組み

農業委員会では、遊休農地の発生防止と解消の取り組みを始め、「行動する農業委員会」として、農業の発展と農業経営の安定を図るため積極的に活動しています。

ヘアリーベッチの播種

遊休農地解消モデル地区として市内各地区に雑草を抑制するマメ科の緑肥作物を播種しました。さらに、播種した圃場には環境保全型農業として試験的に果菜類を栽培しています。

また、市ホームページに活動を掲載したり、圃場には看板を設置し遊休農地解消の取り組みをPRしています。

農地パトロールの実施

遊休・耕作放棄地だけでなく農地の無断転用や不法投棄を防止するため、農業委員全員による農地パトロールを実施しています。パトロール時には腕章を着用し、巡回用自動車にプレートを張り身分を明らかにしています。パトロー

ルで発見された無断転用地などの農地の所有者に対しては、通知や戸別訪問により原状回復や転用申請を指導しています。

農地相談

相談日を設け、各地区の総合支所を会場に農業委員が交代で農家からの相談（農地の貸し借り・売買・トラブル等）をお受けしています。

今後の予定は、11月13日（火）（会場：赤城総合支所）H20年1月11日（金）（会場：北橋総合支所）で両日とも午後1時30分から3時までです。

また、相談日以外でも事務局（市役所第2庁舎内 ☎2920）で相談をお受けしています。なお、ご相談の際は事前にお電話でご予約願います。

ご利用ください

遊休農地対策事業 補助金交付制度

遊休農地があつて「迷惑だ」「困っている」…このようところが今増えています。

市では、遊休化した農地を耕作できるよう復元し遊休農地を解消するため、遊休農地対策事業補助金交付制度に基づき補助金を交付します。補助金を希望する方は、市農林課（☎2593）または地区の農業委員に気軽にご相談ください。

ご存じですか？

電牧柵設置補助金

市ではイノシシ、シカ及びクマ等による農作物等の被害防止を図るため、2戸以上の農業者で組織された団体が鳥獣害対策事業を行う場合に対し、補助金を交付します。

補助金を希望する方は、市農林課（☎2593）または地区の農業委員にご相談ください。

経営と老後の生活をがっちりサポート

新農業者年金に加入しましょう!!

新しい農業者年金制度は安心して頼れる魅力ある制度になりました

- ◆メリット1 農地を持たない農業者や家族農業従事者も加入できます（国民年金第1号被保険者）
- ◆メリット2 少子高齢化時代に強い年金…積立方式で安定した財政運営を行います
- ◆メリット3 保険料の額は自由に決められます（月額2万円から6万7千円まで千円単位）
- ◆メリット4 80歳までの保証が付いた終身年金です
- ◆メリット5 公的年金ならではの税制上の優遇措置があります
- ◆メリット6 農業の担い手（認定農業者等）には、手厚い政策支援（保険料の国庫補助）があります

詳しくは、地区の農業委員、または農業委員会事務局へ

農政の動きを知り
経営に役立てる

全国農業 新聞

毎週金曜日発刊
購読料月額600円(税込)

お申し込みは地元の農業委員へ

わたしもひとこと

農業を始めて



唐澤 絹枝さん
(村上)

「ところで最近話題の『安全、安心』は、自ら作り出せるのでは」と思います。農業従事者の高齢化で畑も貸し手があります。農業は知れば知る程おもしろいので、初心者方、ぜひ生涯学習も兼ねて、”畑”をおすすめします。

私が農業を始めて7年。それまでは専業主婦で、アパートの『ベランダプランター』の生活でした。私の実家に入ることになり、母の畑を手伝い始めました。そんな折、村報(旧小野上)で農林大学の”野菜作り講座”の募集をみて応募したところ、就農コースに入れました。参加者11名で、地域、職業、年齢、さまざまでした。その日程の中に三日間の農家実習があり、普及所の”がない手育成課”で紹介されたのが、赤城の青木さん。立ち並

ぶ長いハウスの中には、いちごの花でした。そこからまた紹介された北橋の樋口さん、大きなガラスハウスに野菜の苗がびっしり。二人共、農業経営士です。そして、有機肥料を研究している若喜屋さん、養豚業の山崎さん、それぞれに、いろいろな事を教えてもらっています。農協の”アグリ大学”や地元農協の職員さん、花木組合、そ菜組合の皆さん、私には先生がいっぱいいます。農業を始めて、たくさんの人々と出会い、学び、おかげで直売所にも出荷しています。



新規就農で
輝いています!

Q 就農したのは、いつからですか?
A 県立勢多農林高校の畜産学科の畜産経営コースで三年間、東京農業大学の畜産学科で四年間養豚の勉強をし卒業後、全農の指定養豚場「株フリーデン大東農場」で研修をして今年の四月から就農しました。



田中 則之さん
(北橋町八崎)

Q 就農してみようですか?
A 現在、母豚80頭、肉豚を常時800頭飼育し肉豚は年間1,800頭を出荷する一貫経営をしています。養豚場の周囲が住宅地ですので公害対策には人一倍気を遣っておりすが大変です。一母豚当りの分娩頭数の向上、肉豚の上物率の向上、分娩後一八〇日令で生体重一一〇kgを目標にしてやっていますがあと一歩です。
Q 今後の抱負をお聞かせ下さい。
A 肉豚は銘柄豚「赤城ポーク」として出荷しておりますが今後さらに肉質の改善に努力をして消費者の皆さんに喜ばれる肉を生産していきたいです。

